

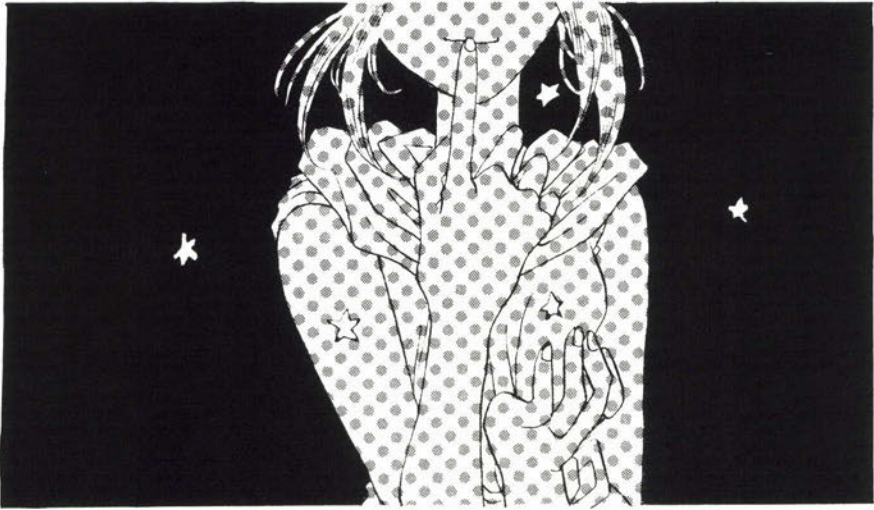


星

狩

り

STAR HUNTING



星狩り

AZUSA YUHKI

1995

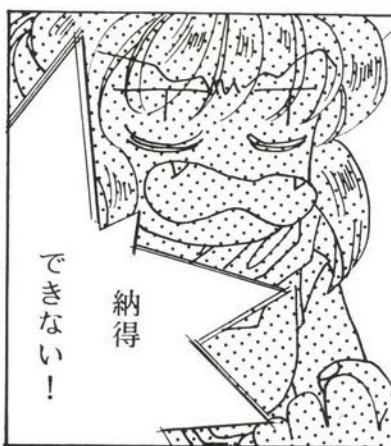


なんで 星って
こんなにあるのよ!?

あーもう!!
取っても取っても
きりが無いわっ



ぱちむ ☆



納得
できない!

星は
たくさんあって
トーゼンだろうが
なんでって...



こーんなちまちま
してるより

もっと
大きい方が
明るくていいわよ

乱暴な
理論だな

第一アアラ
何に星を
使うんだ？

スッ

星なんて
キレイなだけで
何の役にも
立たないぞ

せいぜい
スタービットの
えさになる
くらいだ

が…学芸会の
飾りつけとか
つなぐ
本っ！



お前

お前 なんか
隠してるだろう

…ないよ

そんなの

スレん

た…
立つわよ

してる

解るさ
100年以上の
くされ縁だからな

ぶっ
敵返し!

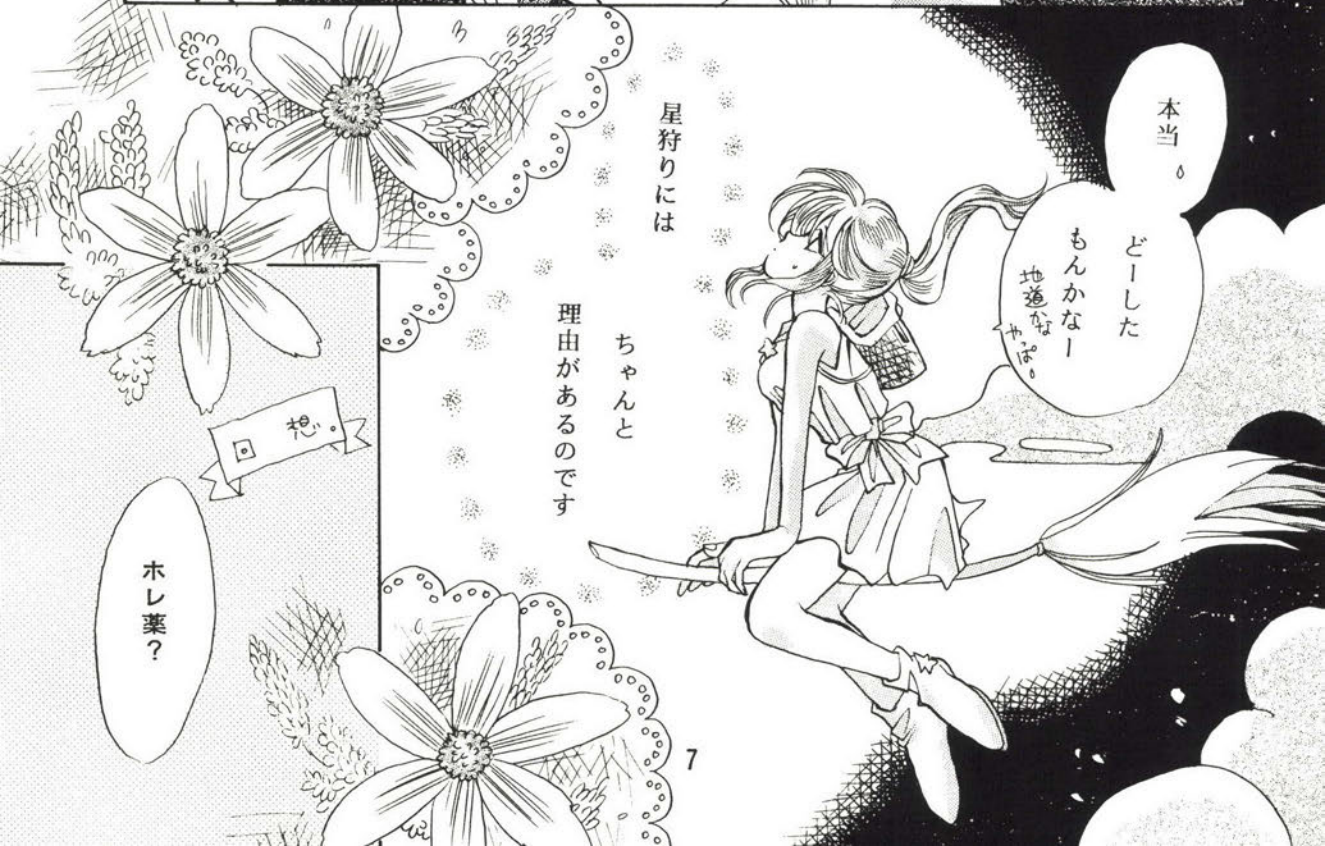
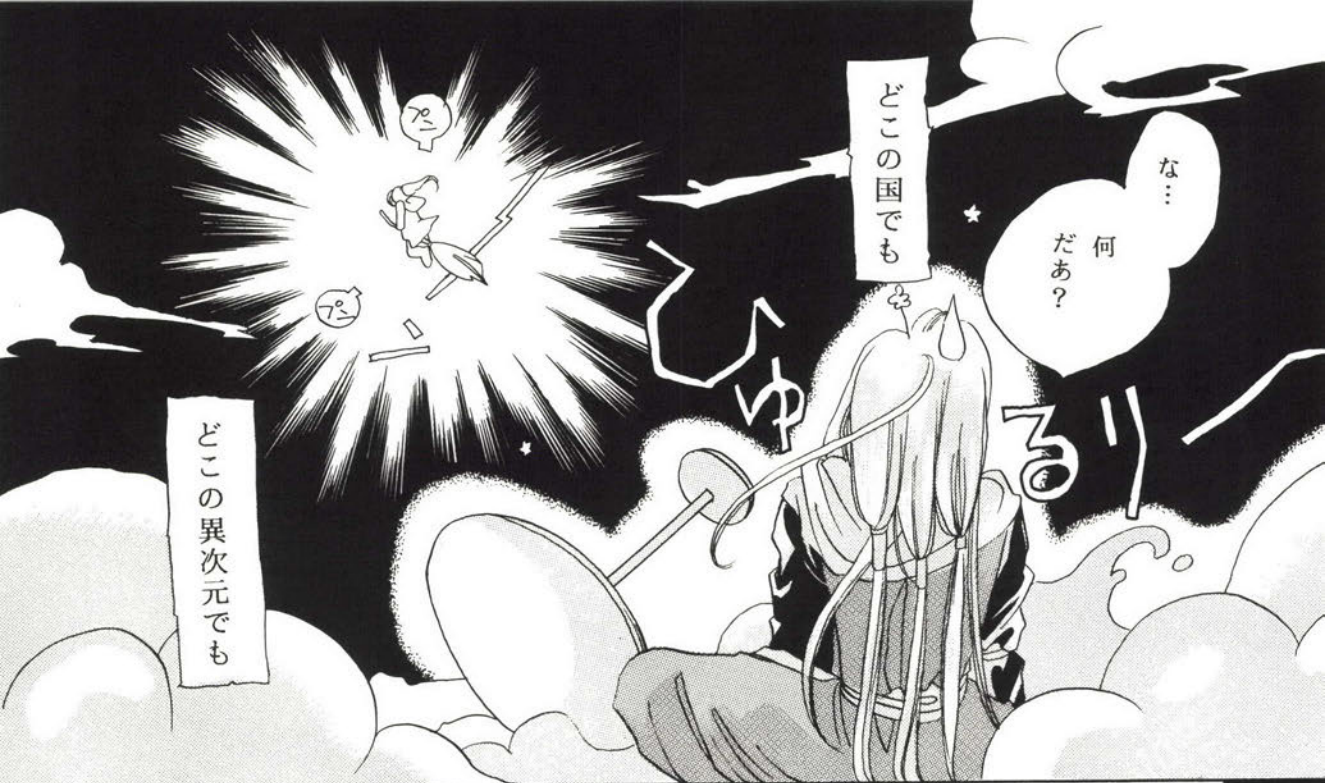
何する…

☆
だから

どうでも

よけい
言えないんじゃないのよ

この
スカタン





だって…今サラ

100年以上も一緒にいるし

あたしをいつもバカにするし

話しかけてもいじわるだし

でもねえ
依頼が
ダブるん
だよ

それに…

何となく
見込みなさそうな
気配だし

あらら
そうなの
かい

あいつは
ニブちんで
有名だしねえ

結構

もてるみたいだよ
エクターは





そっ…

そうよ

その覚悟で
ここまで
来たんだから！



じゃあね
星を
狩っておいで

夜空の星を
ひとつ残らず

やがて空が

一面闇になった時

お前の 願いは
叶うだろう

そしてね
リアラ

狩りが終わるまで
この事は
誰にも喋っては
いけない

できるかい？

期限は

次の新月まで

出来なかったら

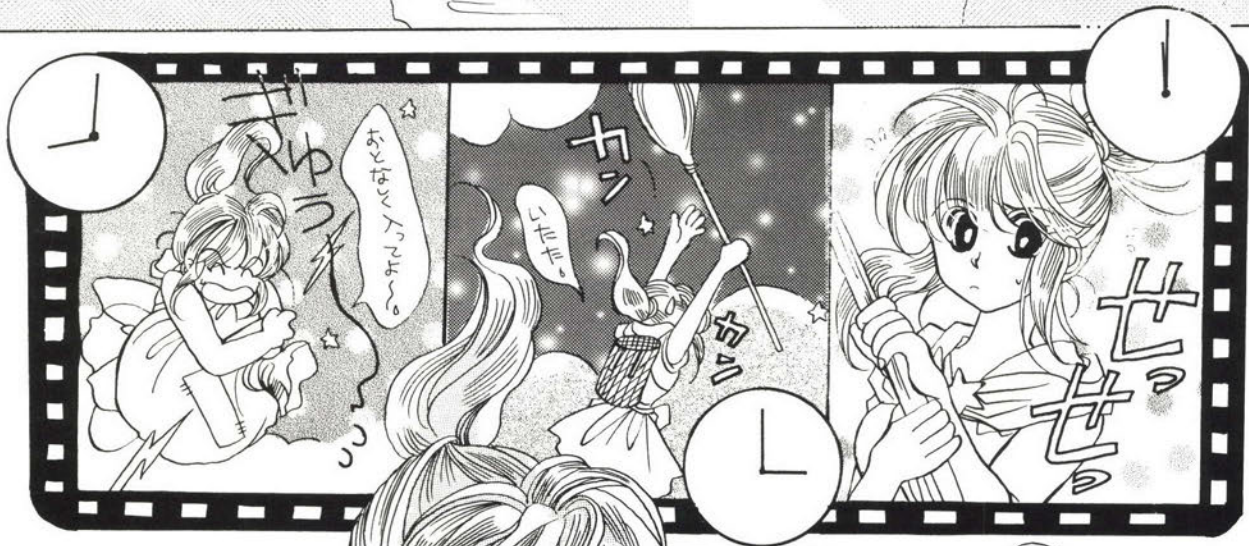
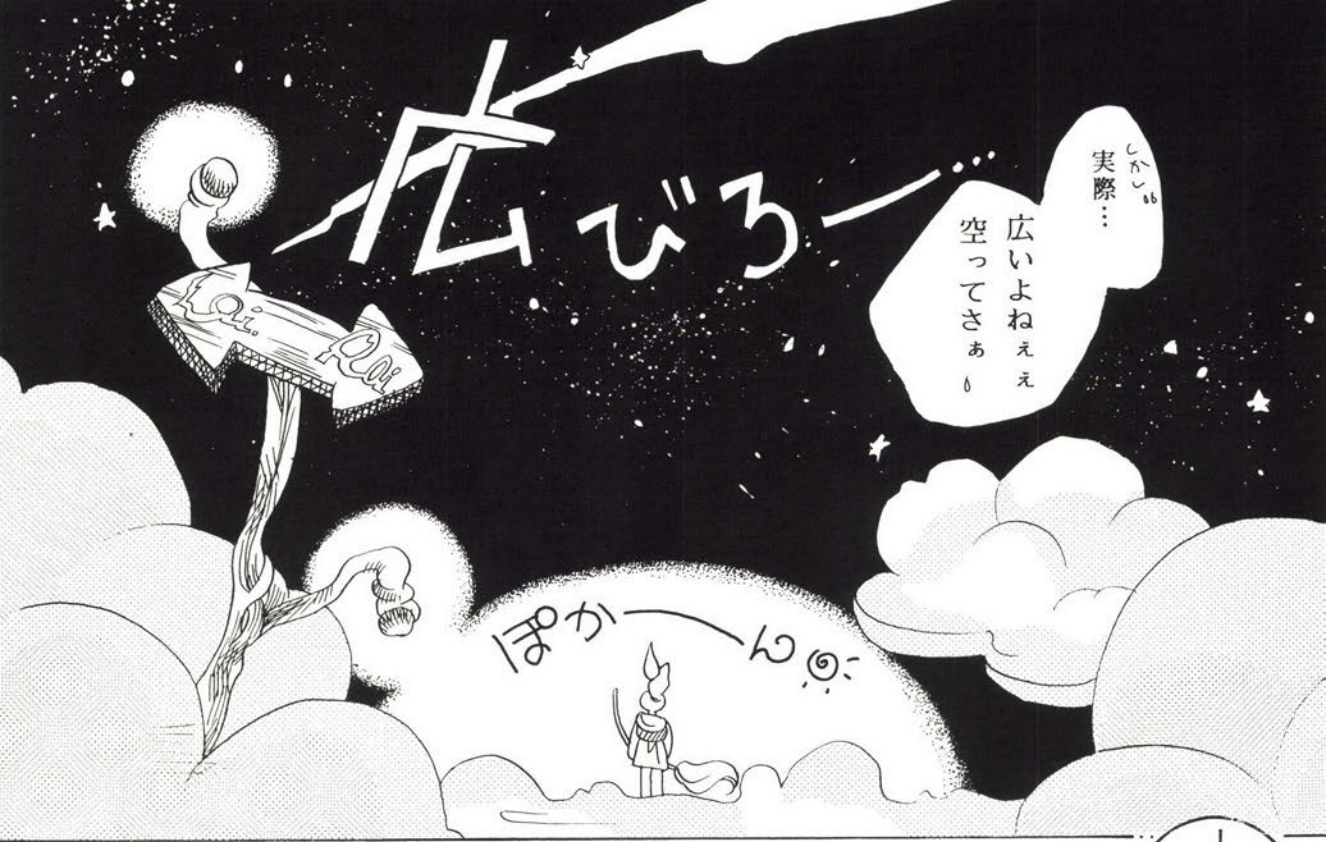
「」を
もらっ
み

異存は
ないね？

ないよ

それが

魔女との
約束





全くムダな事
してるな



うわぁん
こんな事なら
ちゃんと
魔法の勉強
しとくんだった

まったくだ



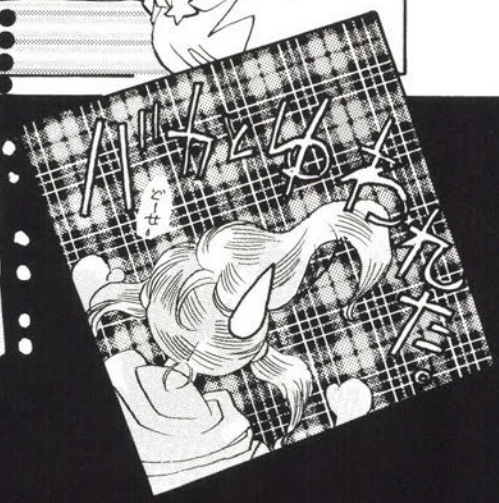
俺は
探知と
テレポートが
使えるんだよ

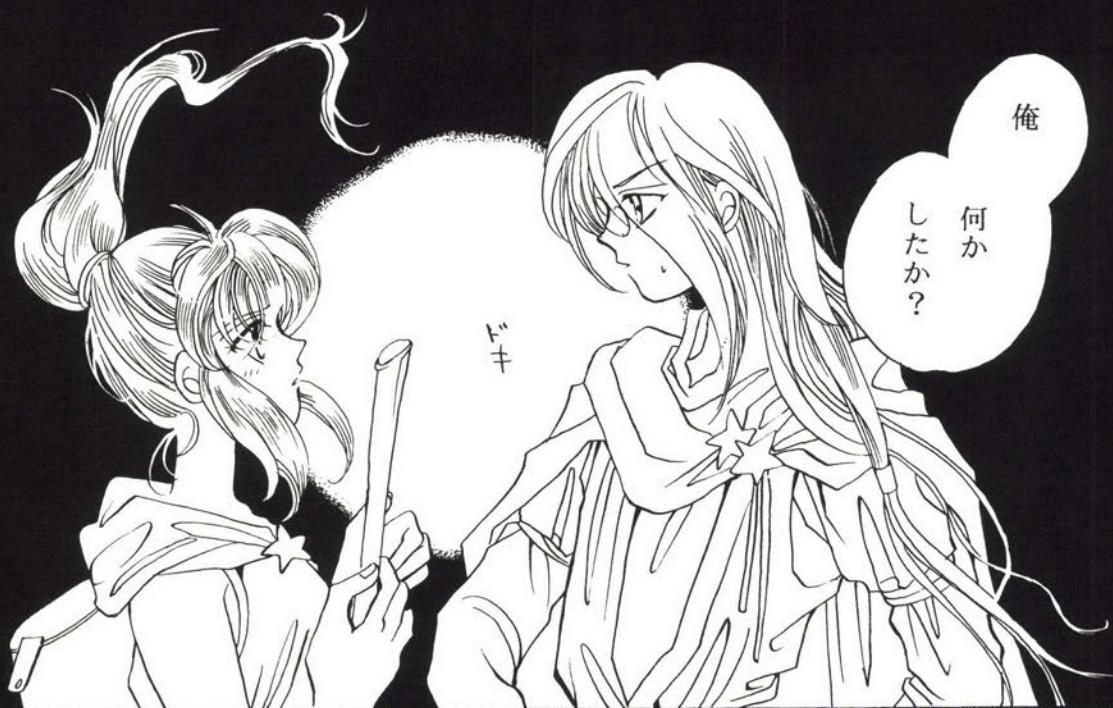


何であんたが
ここにいろのよ!

恥かし

なあ
何で
お前
そんなに
怒ってんだ?





言えない
ただだよ

コトイテ!?



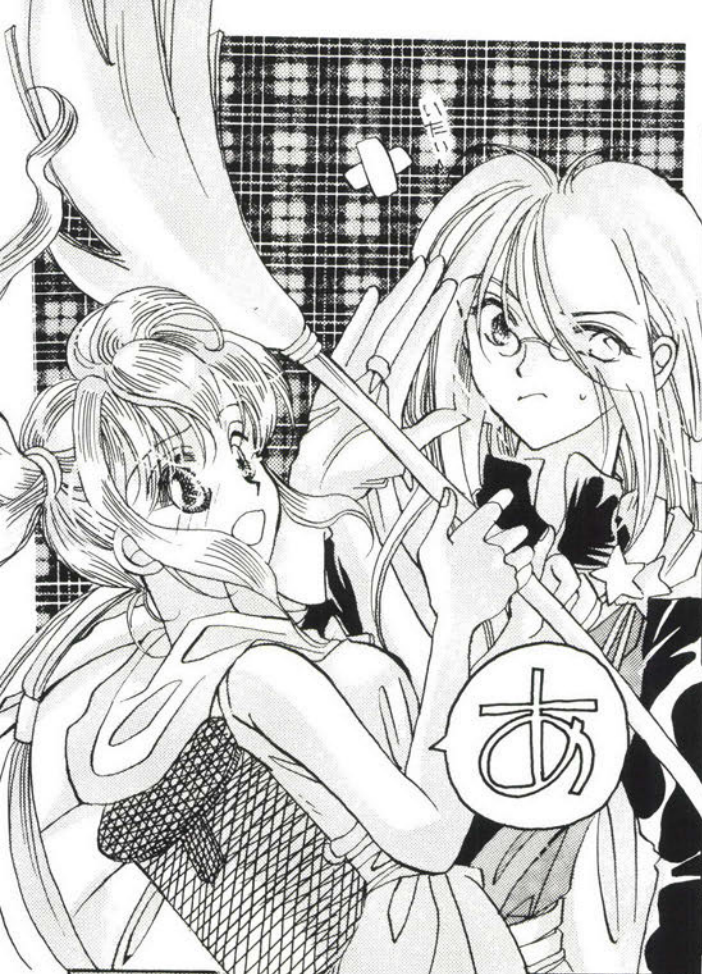
あんたが

ニブちゃん
だからよ...

怒ってるわけじゃ
ないよ...

別に









いっやあ

追って
くるううい

ゴ

バキ

冗談じゃ

ちょっと

スター
ラビットは
星が好物
なんだ

早いところ
まくか
自分ごと喰わ
れるかだぞー

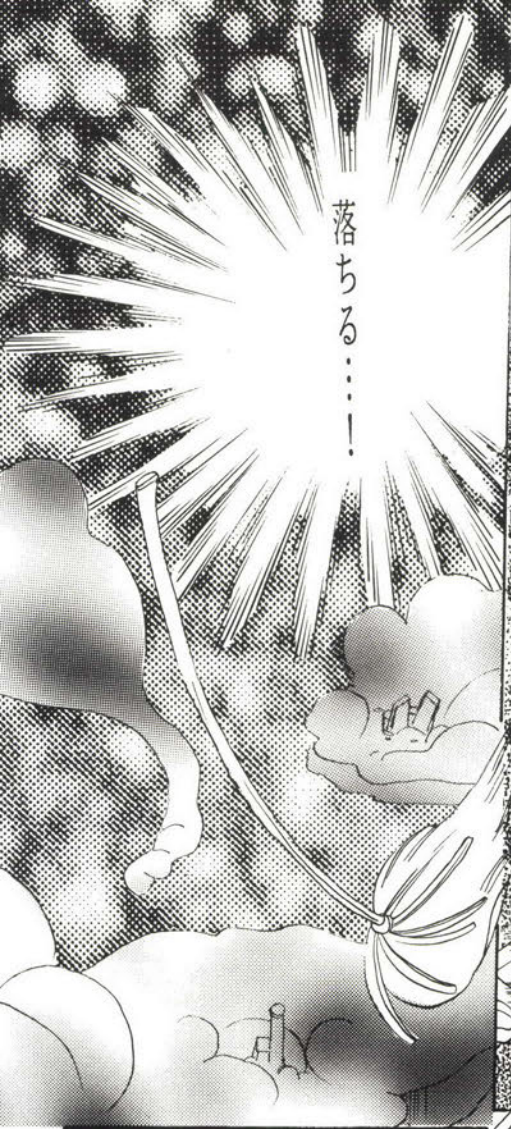
おない
いっ

なんじゃい
とっ
あ

魔女のバカ!!
こんな変な
生物がいるなんて
知らなかったよ!

あーん、
おかしな
おかしな

おかしな

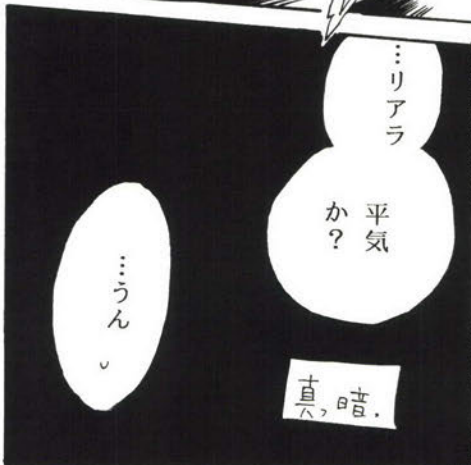


落ちる……!



ん?

ん?



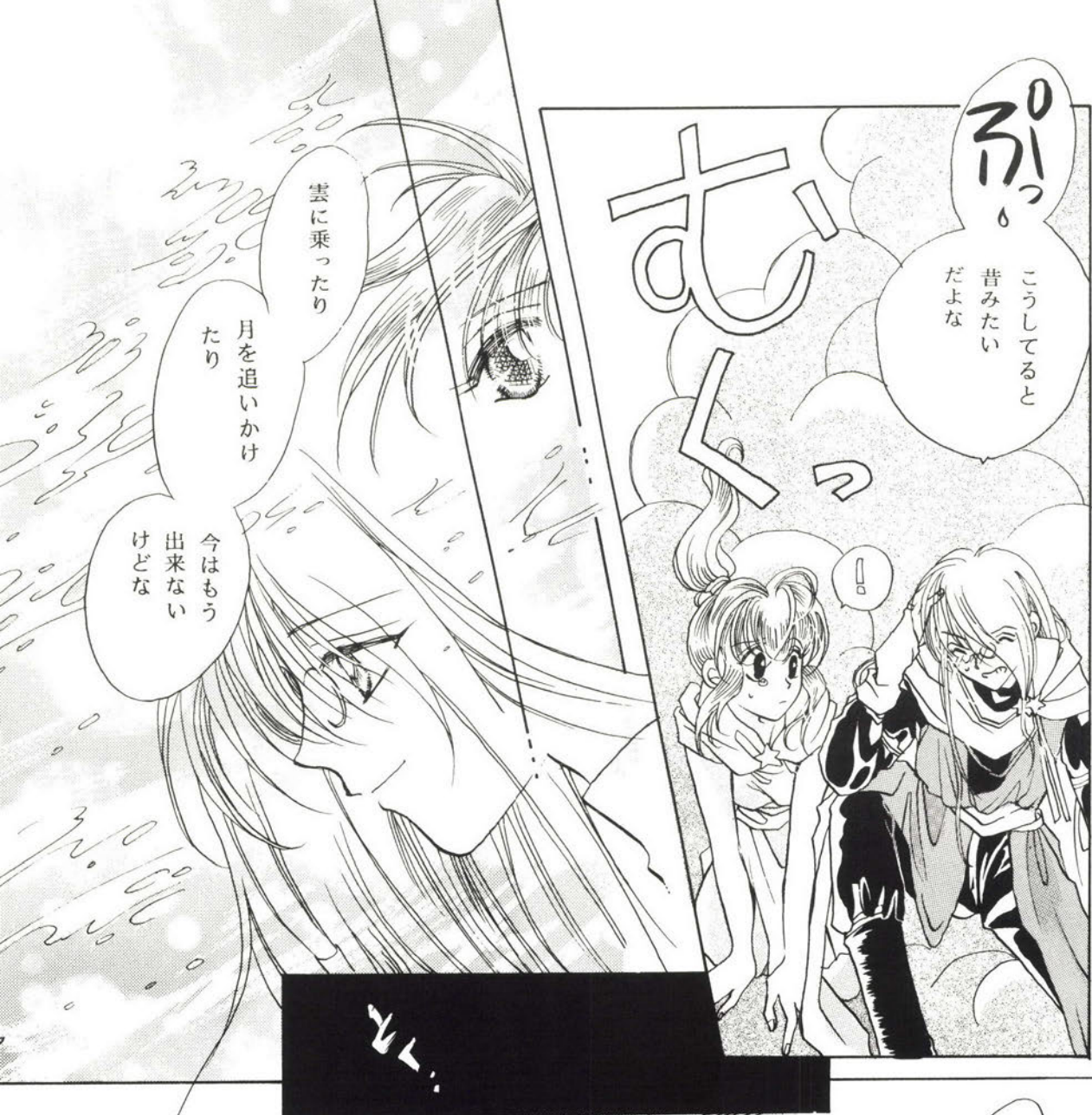
……リアラ

平気か?

……うん

直、暗。







リアラ?



リアラは

そう
だろうな



あたし

星狩り
する

だっ



どうしても

どうしても
欲しいんだもの

不可能でも
やるもの

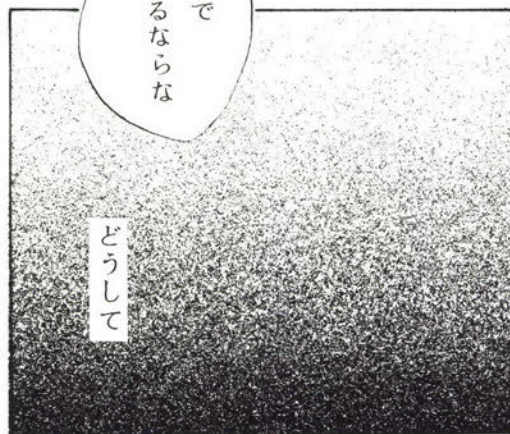
子供は



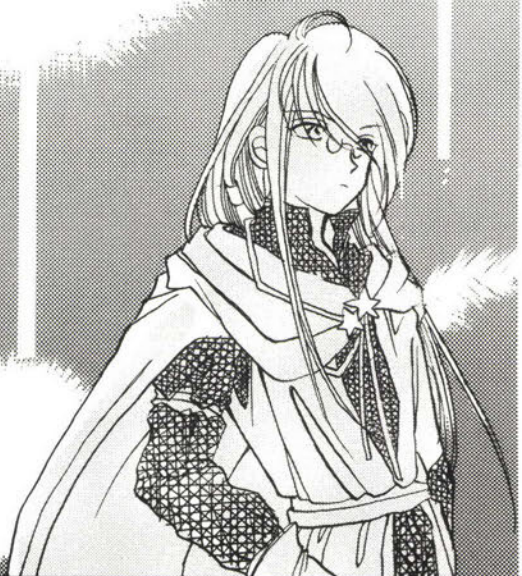
だから
無理に決まっ
てるだろ!!

見ろよ
この空!

やるもん



心は 離れて
いくんだろう



時間は 残酷だね

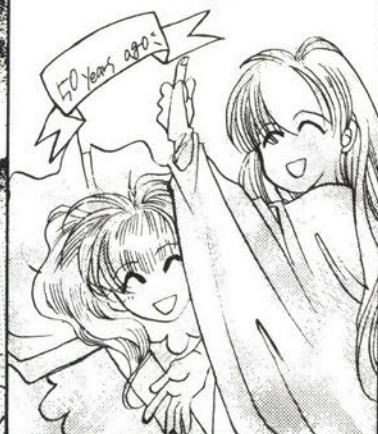
失くしたくないものばかり 奪っていく

話さなくても

解ったのね

全部

昔は
二人だけで
いたのね



今は言葉にしなきゃ
伝わらない

邪魔なのは
私の弱さ

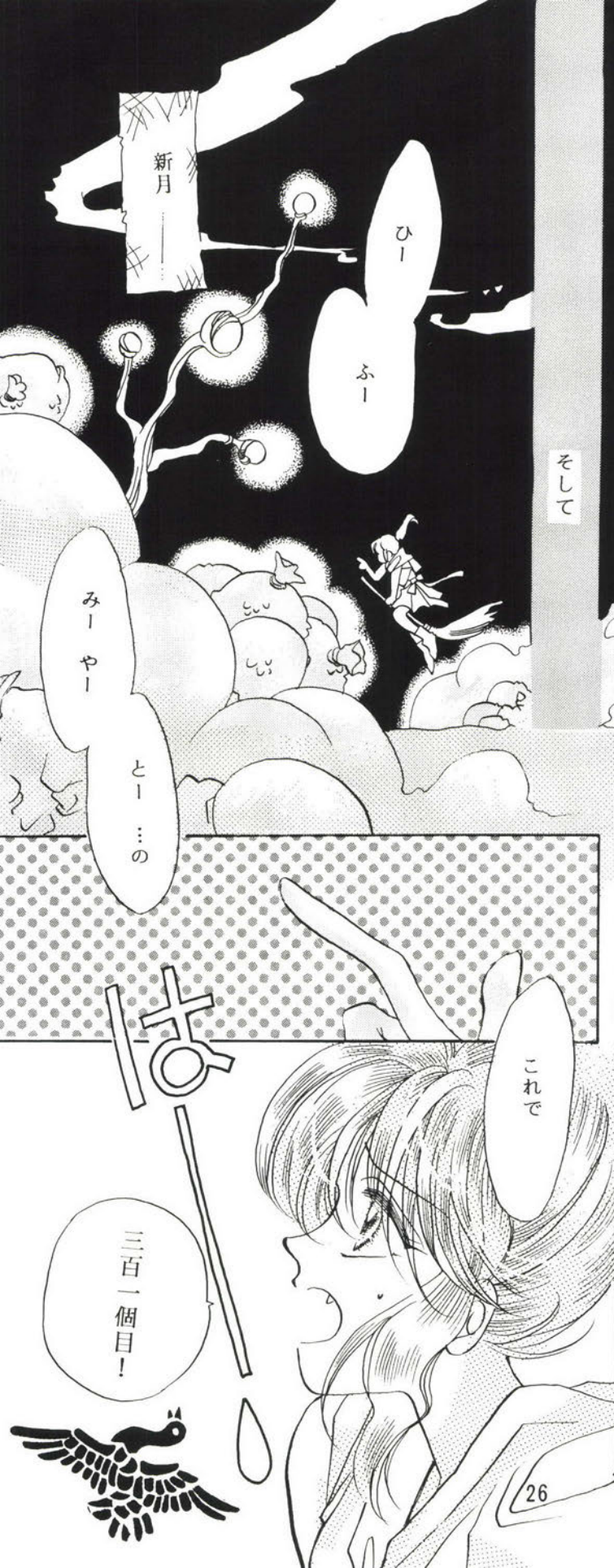
もしかしたら

もしかすると

嫌われてる

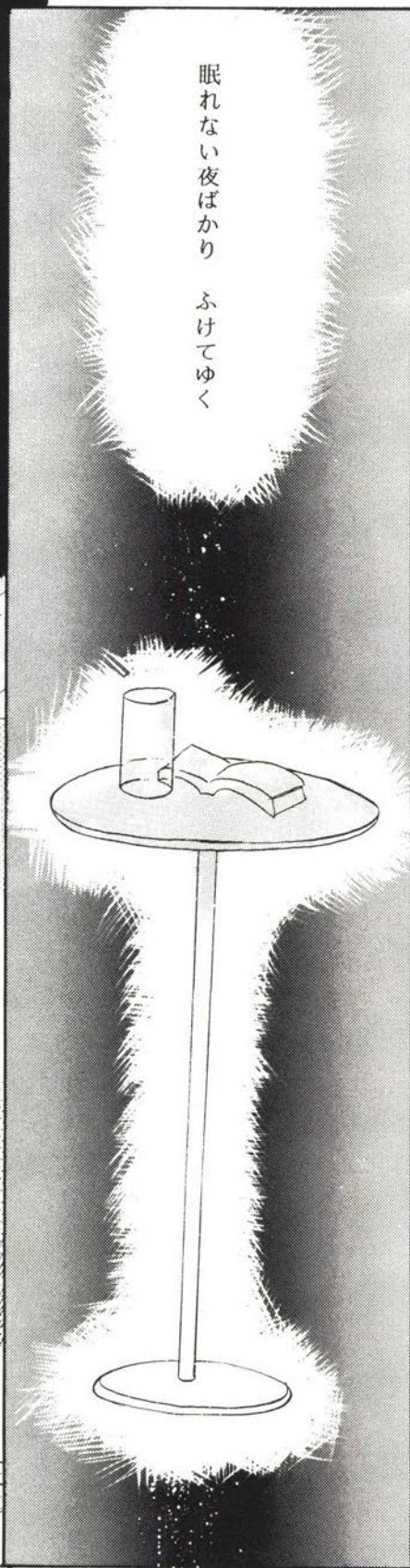
——
かもしれない

と



そして

眠れない夜ばかり
ふけてゆく



POINT

は
☆
☆
☆

後はあの
雲のあたり
だけ!

何んだかんだで

集めたなア

ハハハ

GUTS!

あれから
エクターとは
一度も会って
ないけど

でも

今日が終わったら
きっと会えるもの

星を全部
狩り終えたら…

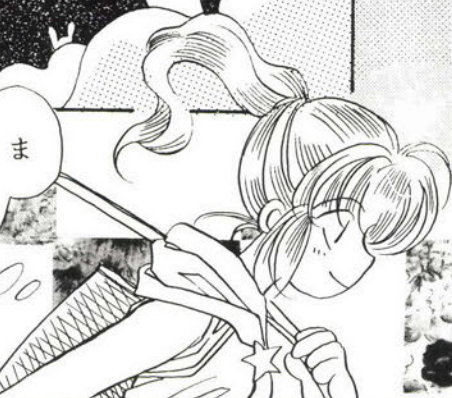


スターラビットだ

あんな集団って
珍しいなあ

「なれ」

ぴょん



いつも通りに
ほーきで
追い払えばいいや





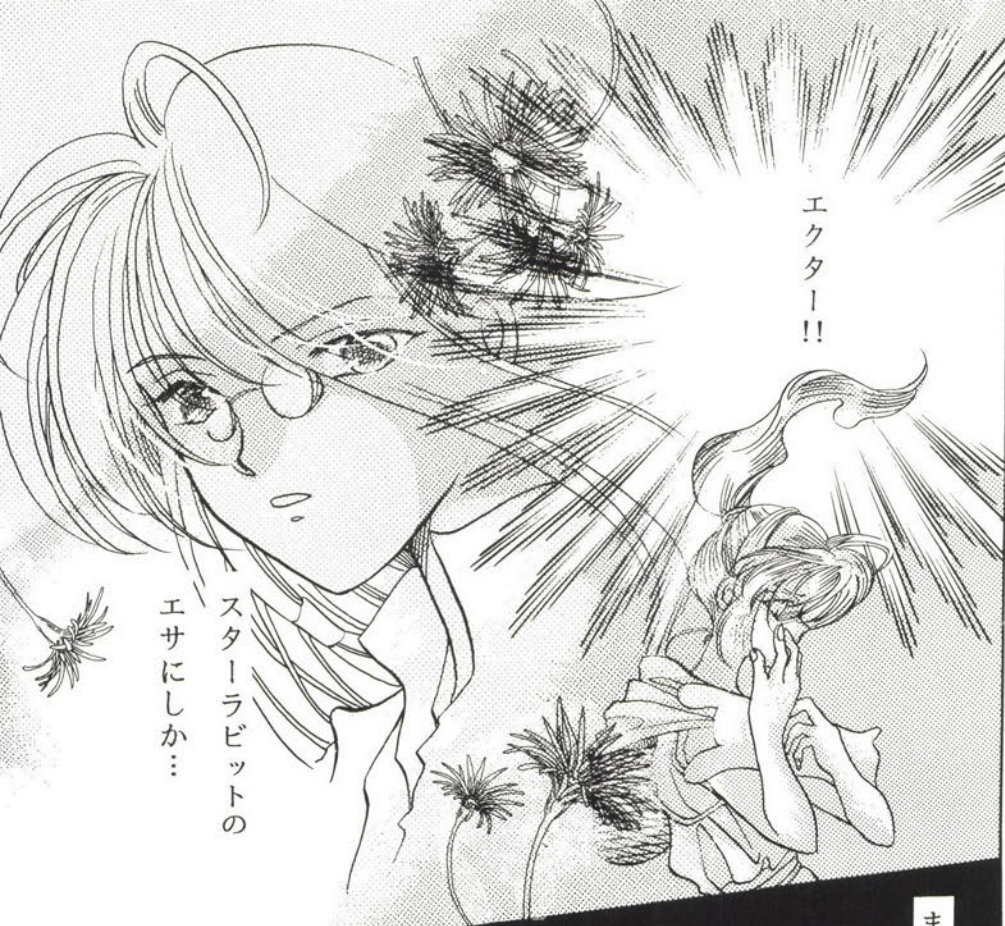
ス...スターラビット?



なんでこんなに
弱って:

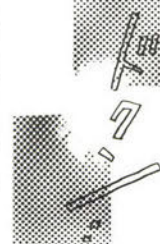


うそ
まさか



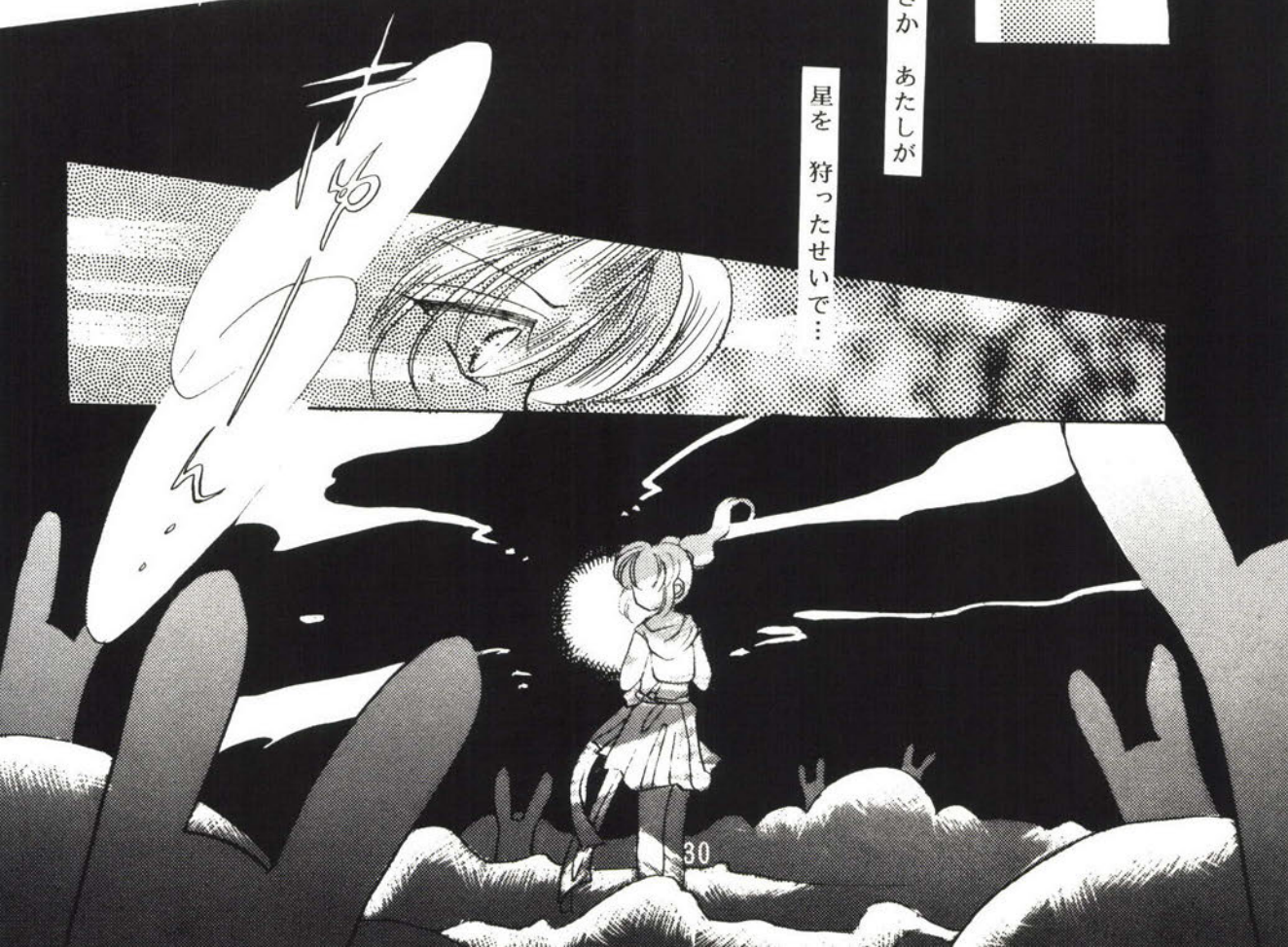
エクター!!

スターラビットの
エサにしか…



まさか あたしが

星を 狩ったせいで…



鳴いてる…

まって!!
泣かないで

このコは
助けるから

あたしの

必ず 何とか
してみせるから

泣かない
でよ…!

せい…

…そうよ

魔女に
頼めば

タイムリミットは 夜明けまで

「出来なければ」「をもうよ」

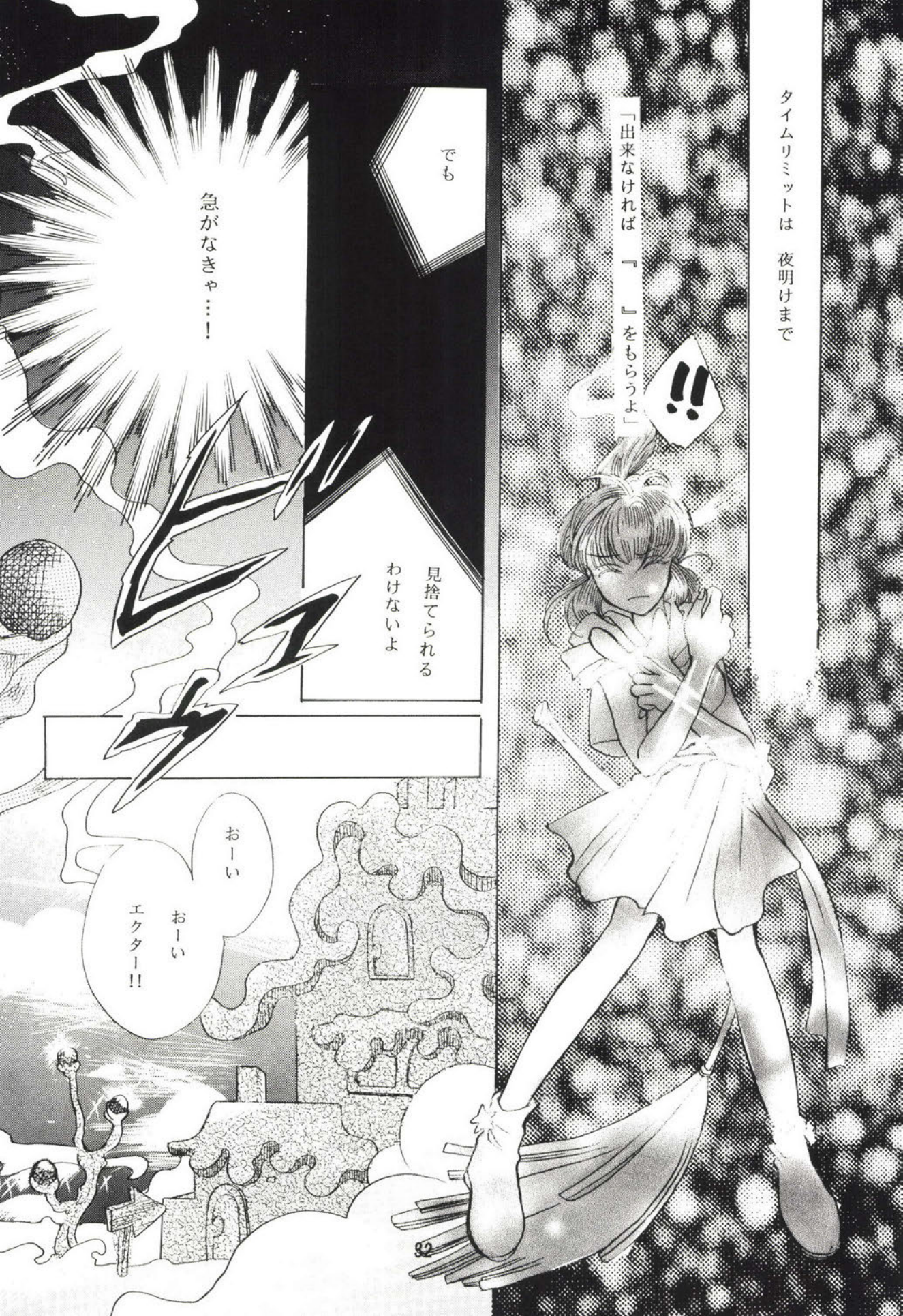
でも

急がなきゃ…!

見捨てられる
わけないよ

おーい

おーい
エクター!!



何、か



のどがかわいたな
紅茶でも
入れてくんない？

お・ま・え・な
ちよっとは遠慮って
ものをしろよ!!



部屋のそうじ!!

魔法薬作りの
手伝い!!

おさんどんまで
やってるんだぞ?!

まーまー



でもそれが
取引の
条件よん?



いやなら
あたしは
取り消しても
いいのよ

このアマ



ほほほほ



…本当に
出来るんだろうな

もちろん

ま
あと少しでしょ
夜明けが来たら
あなたの願い
叶えてあげるから



この私に
不可能なんて
ないのよー

ホホホ

…その自信あふれる
態度が
限りなく不安だぜ

ん？

魔女

ん？



エクター？

どうして
こんな所に!!

それは
こっちのセリフだ

リッ…

リアラ?!

おや

ミ
スター
ラビット
だね

ねえ魔女
治してあげて？

「星狩り」のせいで
こんな事に
なるなんて…

大分 弱ってるね

完全な 栄養失調だ



カレフ

そうかい？

そんな：

そんな事 一言だって
言わなかったじゃない！！

何かひとつの物事を
ねじまげよう
排除しようとしたら

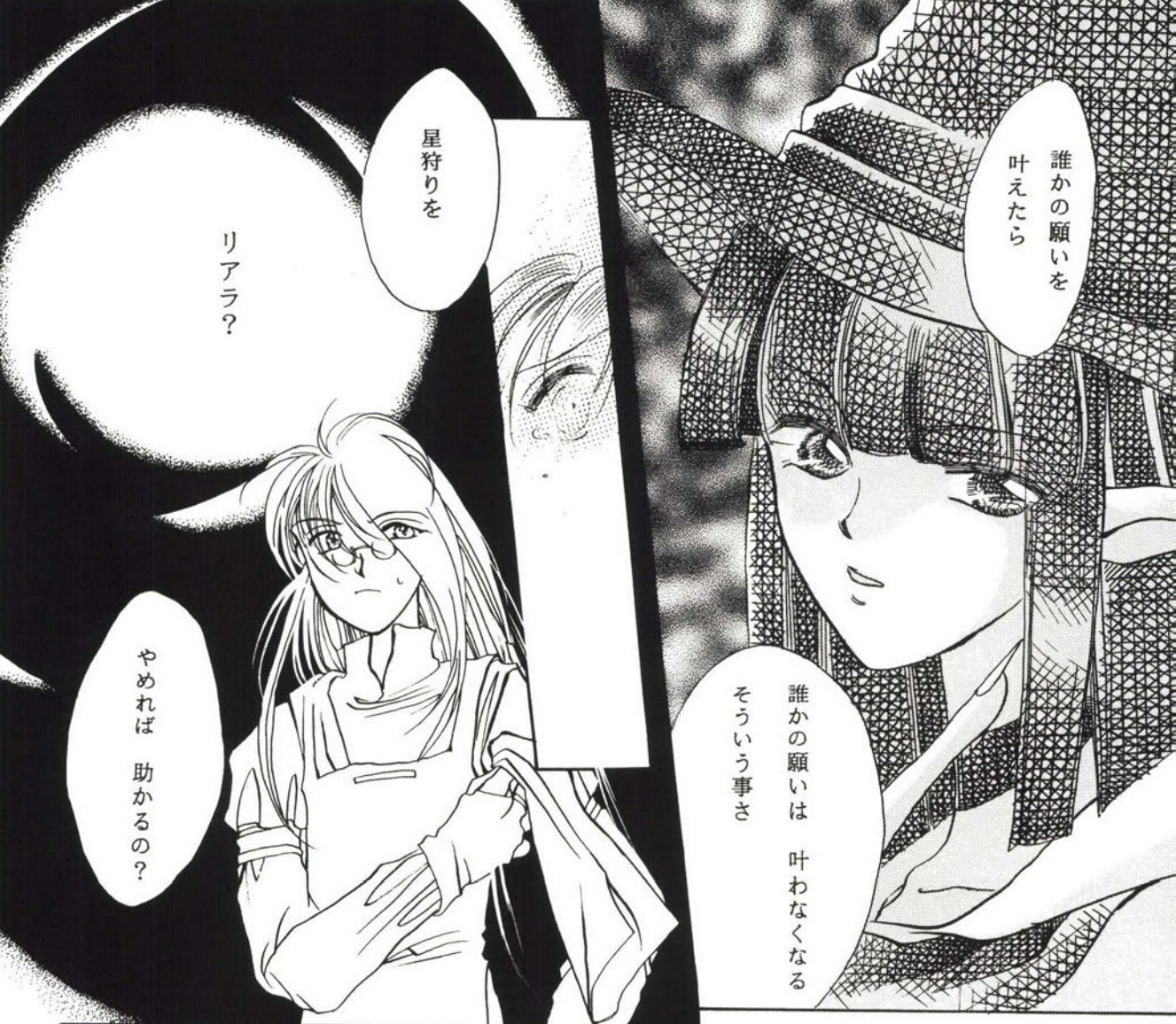
どこかに歪みが
生まれるのは
あたり前じゃないか

私以外の人を
好きにならないで

望みの替わりに
何か犠牲になる
——
そんな事も
解らなかったのかい？

だって望みは
同じような事
じゃないか

「私を 好きになって」



誰かの願いを
叶えたら

星狩りを

リアラ?

やめれば 助かるの?

誰かの願いは 叶わなくなる
そういう事さ



…さあね

もう

手遅れかも
しれないよ

急がないと



どの願いも
叶わないばかりか

お前の
大事なものを
頂くことになるよ

ワ

エクター
翔ぶよ

行先は
わかってる

魔女!!

お前一体
リアラと
何を……!

お前と同じ事さ
いくじなし

さあ 夜明けが来る

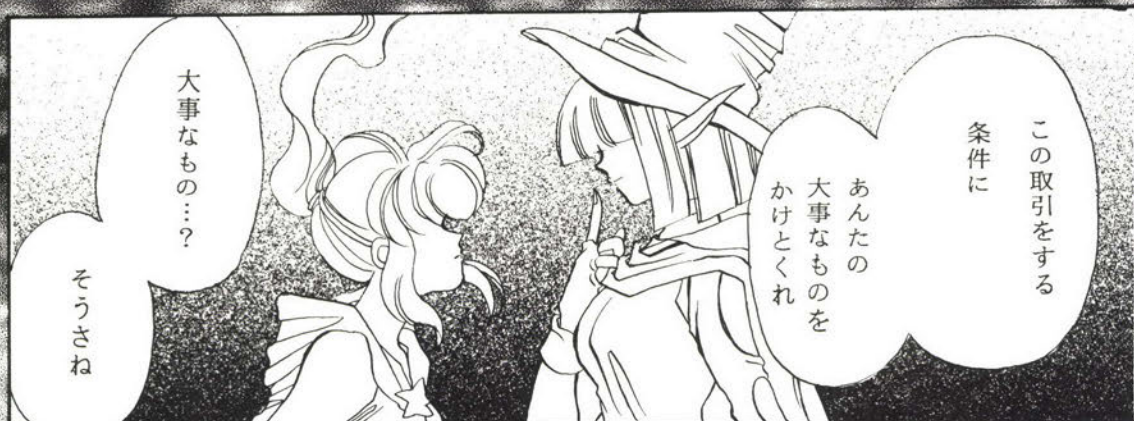
知りたい事を
教えて
やるよ……

考えもしなかった

誰だって
心は自由のはずなのに

エ
ク
タ
ー

嫌いになる 心も



この取引をする
条件に

あなたの
大事なものを
かけとくれ

大事なもの…？

そうさね



例えば

あなたの
心とか

罰が あたったのね

どうして あの時 解れなかったの



あのね
うさぎ達

本当に私
知らなかったの

許しては
もらえないね？

あなた達にも

あなたにも

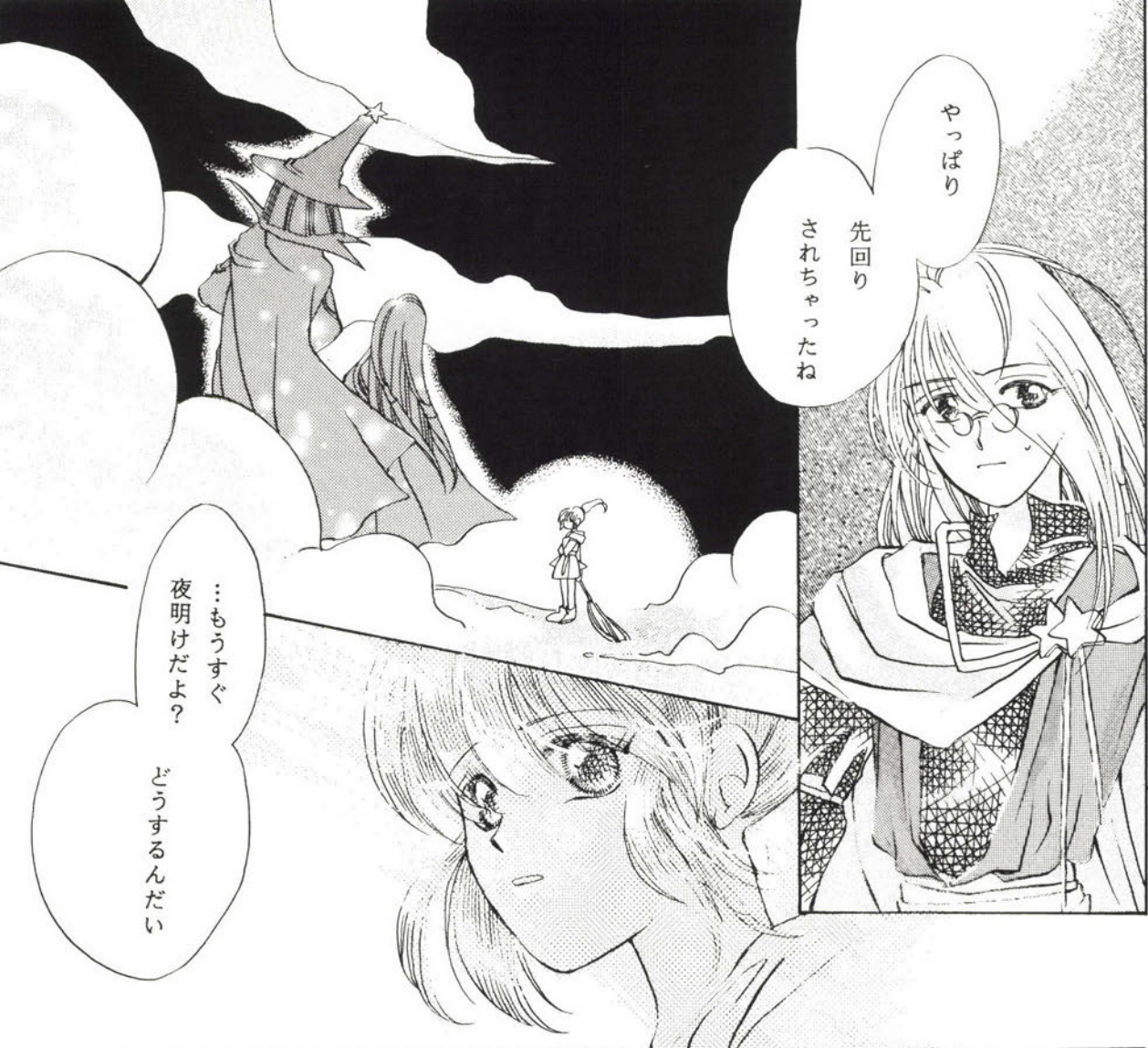
昔は 星はふたつ 並んでた

でもふと見渡せば
夜空はみんな星ばかり

たくさんの
女の子たち

ごめんね

こんな事なら 勇気を出せば良かったね



ねえ

魔女

忘れても

恋は 残るよね？

この空間の

空の 時間の

どこかに

たぶんね

好きだったと

言うこと

だけは

エクター



最後の命令だよ
その星袋を
すべて解きな

本望だから

とどめを
さして

さあ これで

あたしの
恋に

エクターなら

エクター
お前も 解放されるよ

でも!!

それじゃあ
リアラの
願いは:

いいのよ

エクター



これで

さよなら

お前の

知りたいことも
教えてやるよ

血が止まりましたか？



わんぱく!!

第一俺様が人の言うこと
ホイホイ聞いてる
ところから
らしくねえっ！

シリアスな空気を
打ち壊すんじゃないよ！

い
き
な
り

ばいっ


ハナからしくない
事ばかりなんだ

まったく!!

うるせ
これ以上
お前の思い通りに
動くか！
!!!

リアラ！

はっ
はい！



俺はお前が
好きだ!!


魔女の力に
頼らなくても
俺は言える!!



それに

そんなの俺たち
らしくないし

お前らしくない



お前は
言えないのか?

お前を断る奴なんか

この世界に
いやしないよ

いたら 俺が
叩きのめして

や...



まいったね
こりゃあ。
すんばらしいよ。

あたしの
負けかね



不器用で

なれない
悪事は

働くもんじゃ
ないね

けなげな



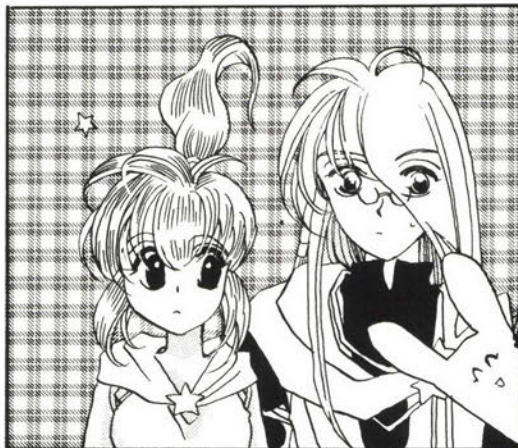
やさしい

かぼそい
心たち

「魔女!」

ほら

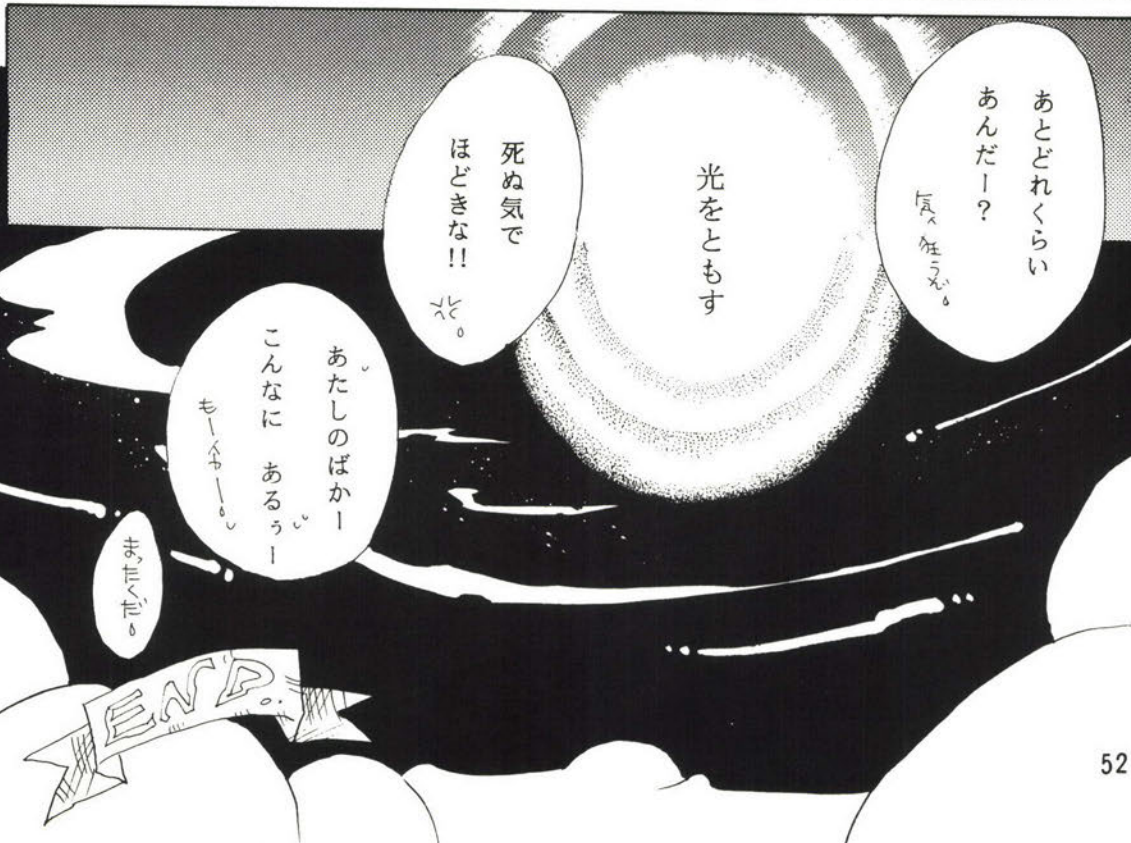
手伝いな!!



明日の夜空に
星がなきや

困る
だろ

暗闇に



あとどれくらい
あんだー?

気^いな^いん^ん

光をともす

死ぬ気で
ほどこな!!

ま^まど^ど

あたしのばかー
こんなにあるうー
もーん^んー^ん

またくだ^い

END.

◎ こんにちは、結城梓です。読んで下さってありがとうございます。うう、久々の新刊です。感涙。
 この本は一年ぶり(以上?)の読み切りで、私の「一冊一話のポリシー」が守られて嬉しい。なにか、長くお付き合い
 でしたが…もういっしょに入って下されば幸いです。…か。この話のコンセプトは「明るく・楽しく・描いて下さ
 も、読んで下さる方も両方が楽しい本」というモノなので。ニの所(といっても、まだ1年目ですが)人が苦しい
 話ばかり描いていたのでちょっと心がつかれていました。だからきつりアツ達(心)に近づいてきてくれ
 たのでしよう。ありがとうございます。◎カリス、めずらしくこの本は、いっしょに作る(共にしては)ので、お揃い
 一年くいた

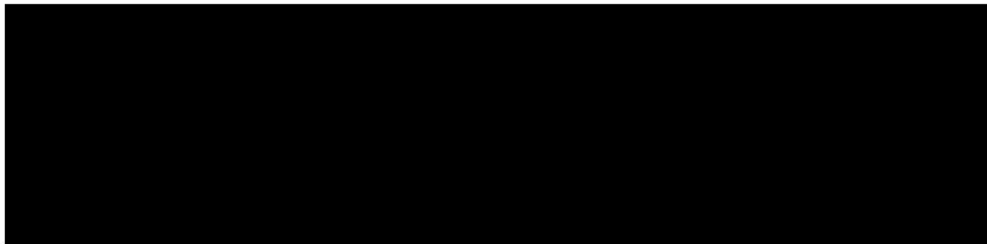
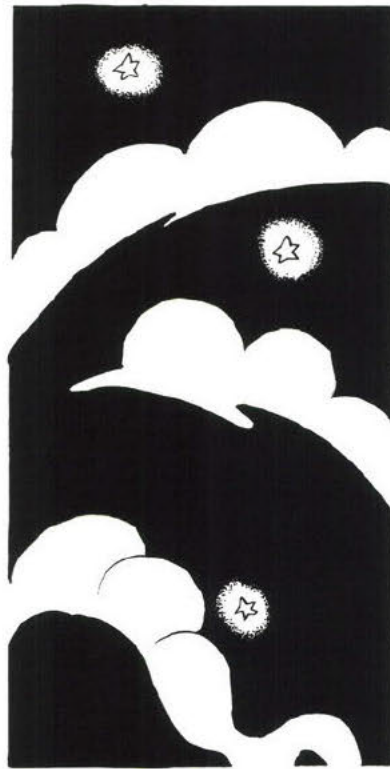
左が(いのかな)
 の感想(ありが
 が言ってもら
 あったな)と思い
 「星様」でもとう
 はまたお会い出来る事
 1995.10.

結城 梓
 かし あり

からお手に取る方もいっしょに楽しめませんか。(お、もうお会い出来
 この前の「ふもものがたり」というお話
 うございませう)で、「キャラクターがスベ」と
 リして、未熟なカリスがにはたがいが
 ました。本当、精進しますわ。できれば、
 読んで下さたら嬉しいです。それで
 を祈って。

SPECIAL THANKS
 TO YOU!





◎ペーパーを不定期刊行しています。ご希望の方は上記住所まで80円切手つき返信用封筒同封の上お問い合わせください。お手紙だけでも大歓迎です♥
(超遅いですが、お返事書いてます)

STAR HUNTING

STARS

A. M
*1995

AZUSA

YUUKI